

たまごとし



index

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 特集
働き方改革について | リレーコラム
山根清孝さん |
| 濃い〜ところ
防災対策支援システム | やわらかコラム
社会的な手抜きについて |
| プチニュース
掲載情報 | 本日定時退社につき
工場 1F 暑気払い懇親会 |
| Good & New
佐々木さん、西尾さん | コンテスト結果発表
おたよりのお知らせ |

[今月の特集]

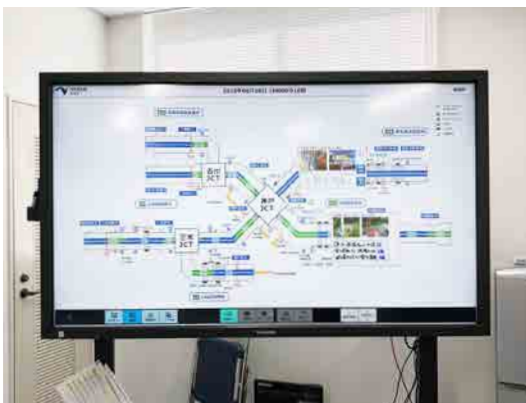
働き方改革の 具体的取り組みと成果



[濃い〜ところ]

ただの電子黒板じゃありません！

防災対策支援システム



高速道路の管理を助ける新システムが登場。
防災対策室と現場を繋げる防災対策支援システムを紹介！

働き方改革 具体的に なにしてた？

結構真面目に本格的に
取り組んでいったよ！

働き方改革の取り組みについては、社内報でもたびたび紹介してきましたが、「具体的に何をしていたの？」「どう変わったの？」「効果があったの？」という疑問にお答えして、今月号の特集は東洋電装の働き方改革を深掘り！

長時間労働や一部の社員に負担が偏るといった課題を解決するために、どのような取り組みを行ったのか、一緒に確認していきましょう。

1 取り組みの方針

「ワクワクする仕事を、楽しくする」

本来、モノづくりは楽しいものです。

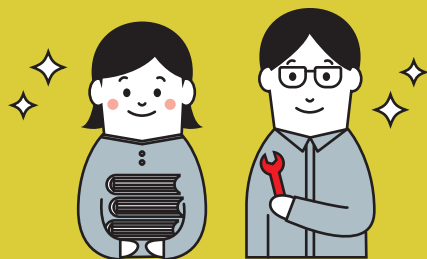
「楽しく働く」ことを邪魔している、長時間労働や一部の社員に負担がかかっている状況を改善します。

「技術で社会に貢献する」という企業理念にマッチした新しい働き方の未来像を固め、すべての従業員で共有します。

「楽しく仕事ができる」環境や制度を整える

ここ数年で事業が拡大し、従業員の数も増えました。

急成長する東洋電装に相応しい制度や環境を整えます。



2 取り組み内容

習慣化した長時間労働をやめさせたい

- ・勤務間インターバル制度
- ・早朝勤務制度
- ・1920 制度（退社促進制度）

社員が元気になり会社に活力が生まれ

- ・年間休日の増加
- ・イノベーション休暇制度
- ・在宅テレワーク制度

小さな改善活動

グループウェア上の掲示板で集めた従業員のお困り（業務終了後は電話が自動的に留守番電話に切り替

裏でこんなこともしていました



中心メンバーで打ち合わせ。



全員で集まって研修を受けました。
みんなの意識から変えていこう。

みんなで意見交換。
考えがまとまったらチームごとに発表！



社長からのコメント

私は働き方改革とは、会社及び個人の「意識の改革」だと考えており、数10年かけて植えつけられた意識が変化していき、その成果が明確に出てくるまでには数年程度の期間が必要だと思っています。
変化することは大変なことです、これからも取り組みを継続して頑張っていきましょう。



3 成果

残業時間 約13%削減!!

制度3点セットを導入

あたらしい制度については社内報5月号を見てくださいね!

る支援制度を導入



取り組み前
36.6時間/月

取り組み後
31.8時間/月

従業員の声

帰りの時間を決めることで時間への意識が高まった。

朝型の仕事への切り替え意識が持てた。

効率の良い仕事ができるように、今までより意識をするようになった。

ごとを、すぐにできることから改善。
わるようにするなど)

今後の方針

1. 働き方改革継続宣言

働き方改革を一時的な取り組みにしません。時代の変化に合わせた働き方を考え続けます。

2. 能力開発に能力評価が連動する仕組みと制度の構築

生産性向上のポイントは従業員の能力向上。能力を評価し、能力アップを後押しする仕組みを作っていきます。

3. ボトムアップ型の業務改善の取り組み推進

掲示板でのお困りごと収集をブラッシュアップし、ボトムアップ型改善運動の起点とする。

東洋電装の働き方改革はまだまだ終わらない!



東洋電装の 濃い～ところ

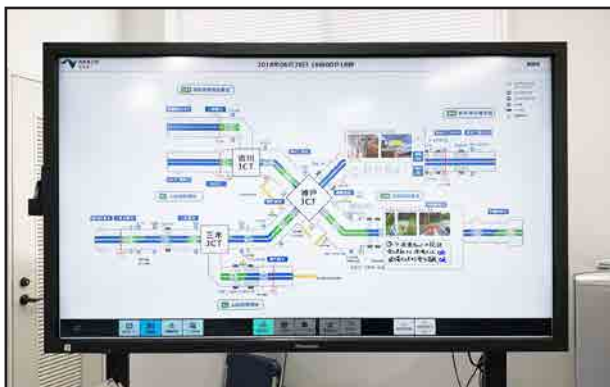
東洋電装のお仕事、製品について
詳しくご紹介します

▶▶ 高速道路システム事業 防災対策支援 システム

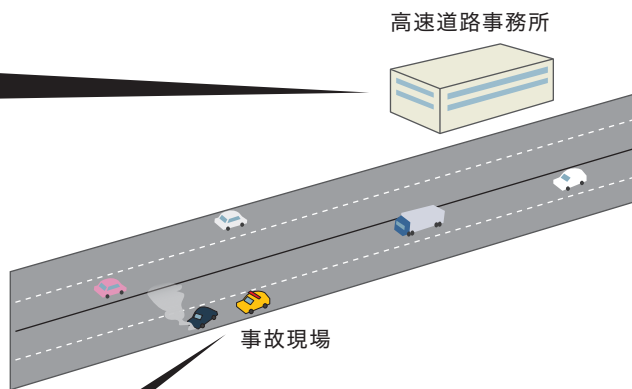
防災対策室と現場で スマートな情報共有を

高速道路事務所内の防災対策室に設置した電子黒板を、無線ネットワークを活用することで、現場の携帯端末と接続し、スピード感のあるリアルタイムな情報を共有できるシステムです。

●防災対策室の電子黒板



●現場の作業員のスマートフォン



防災対策支援
システムで
できること

路線図の共有

どの場所で事故が起きているか、どのような対応をしているのか把握できます。

動画の共有

スマホで撮影した現場の動画・写真をリアルタイムで共有できます。テレビ電話にもなります。

ホワイトボードの共有

ホワイトボードに書いた内容をそのままの画像として共有できます。

手書き情報の共有

撮影した動画・写真に記入した手書きのメモや指示を共有できます。

対応の履歴の共有

現場の状況や対応の内容を登録することで、時系列で確認することができます。

東洋電装ニュース

掲載情報 8月18日に長野県の白馬村で行われた山岳遭難者の救援支援システムの開発実験について掲載されました。東洋電装はシステム開発などで協力しています。(左：信濃毎日新聞 web 右：大系タイムス)

長野県のニュース

長野県のニュース 8月19日 記事一覧

山岳遭難者の救援支援システム開発実験 白馬で広島大病院など

広島大病院（広島市）などのチームが18日、北安曇郡白馬村で山岳遭難者の救援支援システムの開発実験をした。登山者に電波を送受信する携帯端末（子機）を持って入山してもらい、遭難した場合は、小型無人機ドローンなどを經由して情報をやりとりして登山者の位置を特定する試み。携帯電話よりも消費電力が抑えられ、遠距離通信も可能なシステムで、救助の効率化や二次災害の防止につながる見込み。

2017年の山岳遭難事故は全国で2583件で、統計が残る1961年以降で最多。広島大病院救急科は医療へのICT（情報通信技術）利用に取り組んでおり、急増する山岳遭難に対応しようとして1年前から開発している。白馬村は全国でも登山者が多いことなどから実験場所に選び、実際の登山道などで検証した。

救援支援システムは、山中の登山道などに中継機を置き、登山者の位置情報を子機から親機に送信して把握する仕組み。電波が届かない場合は、中継機をドローンやヘリコプターに積んで飛ばし、位置の特定を図る。

通信方式は、消費電力を抑え、遠距離通信が可能な「LPWA」を使用。5～12キロ程度離れてもデータの送受信ができるため広範囲で捜索可能で、子機のバッテリーを長持ちさせることもできる。親機をパソコンとつなぎ、地図と登山者の行動記録を重ねて表示でき、遭難場所の把握や推測に役立てる。

実験には、ドローン製造・開発の「イームズロボティクス」（福島市）や、システム開発などの「東洋電装」（広島市）、認定NPO法人全日本ヘリコプター協議会（岐阜県）、山岳救助に取り組むNPO法人「A.C.T.」（白馬村）などが参加。この日は岩岳山頂付近や八方池山頂付近に中継機を置き、山中の登山者と、麓のホテル付近から親機で交信。ドローンやヘリも飛ばして、ホテルから最大約8キロ離れた地点で位置の特定に成功した。ただ山で遭って受信できない場所があるなどの課題も見つかった。

今後は登山者からメッセージを送る仕組みや、生体反応を確認できる仕組みの改良、子機（現行機20センチ、横10センチ、厚さ3センチ）の小型化などに挑む計画。チームを統括する広島大病院の黒川晋嗣（しげのひろし）医師（33）は「見つかった課題を詳しく分析して、今後につなげたい」としている。

2018年(平成30年)8月22日(水曜日) 大系タイムス

山岳救助 早期、広範囲に 白馬で新システム検証試験

広島大・通信、ヘリ専門家

山岳遭難者への早期発見と救助を目的とした新システム「山岳遭難者救助システム検証試験」が、長野県白馬村で行われた。広島大学（広島市）の通信工学部と、ヘリコプター専門家「A.C.T.」が中心となり、地元関係者も参加した。この日は岩岳山頂付近や八方池山頂付近に中継機を置き、山中の登山者と、麓のホテル付近から親機で交信。ドローンやヘリも飛ばして、ホテルから最大約8キロ離れた地点で位置の特定に成功した。ただ山で遭って受信できない場所があるなどの課題も見つかった。

山岳遭難者への早期発見と救助を目的とした新システム「山岳遭難者救助システム検証試験」が、長野県白馬村で行われた。広島大学（広島市）の通信工学部と、ヘリコプター専門家「A.C.T.」が中心となり、地元関係者も参加した。この日は岩岳山頂付近や八方池山頂付近に中継機を置き、山中の登山者と、麓のホテル付近から親機で交信。ドローンやヘリも飛ばして、ホテルから最大約8キロ離れた地点で位置の特定に成功した。ただ山で遭って受信できない場所があるなどの課題も見つかった。

山岳遭難者への早期発見と救助を目的とした新システム「山岳遭難者救助システム検証試験」が、長野県白馬村で行われた。広島大学（広島市）の通信工学部と、ヘリコプター専門家「A.C.T.」が中心となり、地元関係者も参加した。この日は岩岳山頂付近や八方池山頂付近に中継機を置き、山中の登山者と、麓のホテル付近から親機で交信。ドローンやヘリも飛ばして、ホテルから最大約8キロ離れた地点で位置の特定に成功した。ただ山で遭って受信できない場所があるなどの課題も見つかった。

山岳遭難者への早期発見と救助を目的とした新システム「山岳遭難者救助システム検証試験」が、長野県白馬村で行われた。広島大学（広島市）の通信工学部と、ヘリコプター専門家「A.C.T.」が中心となり、地元関係者も参加した。この日は岩岳山頂付近や八方池山頂付近に中継機を置き、山中の登山者と、麓のホテル付近から親機で交信。ドローンやヘリも飛ばして、ホテルから最大約8キロ離れた地点で位置の特定に成功した。ただ山で遭って受信できない場所があるなどの課題も見つかった。

Good & New

東洋電装社員の、GoodなことやNewなことをご紹介します。



佐々木 祐一さん

お盆に祖母の米寿のお祝いをしました。近くのお店で食事をし、プレゼントでおしゃべりロボットを贈りました。ロボットと会話ができず残念でしたが、いい会となりました。これからも元気でいてほしいと思います。

西尾 恭平さん

夏の風物詩、オバケ

先日3歳の子供の保育園に行ったら、オバケの絵を描いたと嬉しそうに見せてきた！そこにはなんと目玉がちゃんと書いてあった！今までグチャグチャな絵だったのに・・・成長したなと・・・



リレもコラム

今日のコラムニスト

山根清孝さん



ちょっと非日常的な空間

変化のない日常の繰り返しに己を慣らすのか、変化のない日常に幸せを感じるのか、変化のない日常を求めるのか、日常に対する考えは人それぞれかと思いますが平凡な日常を送っている私が少し非日常を考えてみました。

今回、私の考える非日常は空間です。
どのような空間が非日常かと言えば

美術館の庭の広い空間構成：ひろしま美術館の中庭に面した回廊空間。

美術館の空へ向かったの空間：広島現代美術館のムーアの階段を上がりきったところの円形エントランスから見上げる空と円形屋根のコントラスト。

美術館の中庭に面した喫茶コーナー：山口県立萩美術館の高い天井と外の芝生を眺める喫茶コーナー。

美術館のロビー：島根県立美術館入ってすぐのロビーのすっきりした空間と宍道湖に向けてなだらかに描かれた屋根と宍道湖のコントラスト空間。

美術館の収納庫の絵画ラック：メッシュの高さ3m位のフェンスにフックで吊り下げられた絵画が整然と並ぶ空間・壁面は木製の壁（イメージ湧かない人はネットで「絵画ラック」で検索すると写真が出てきます）

優雅な日本庭園：足立美術館の遠くの山を借景とした手入れの行き届いた広々とした日本庭園。

幾何学的鉄鋼物：東京有楽町の東京国際フォーラムのロビーから見上げる天井の幾何学模様。

大木が続く伊勢神宮（内宮）：木立に凜と建つ白木の神殿と大木が幾何学的に連続する参道。

橋に乗っているように見える屋根：広島市の城南通りを西から車で走って寺町を過ぎたあたりから空鞆橋に乗っかる

ように見えるグリーンアリーナの銅葺き屋根と空の一体感のある空間。

どうも、広くて連続に続くものに非日常を感じるようです。広くない生活空間で、毎日を過ごしているかもしれませんね。

皆さんはどのような空間に非日常を感じますか？

まだまだ見に行きたい空間はあります。

建築家の安藤忠雄、隅研吾、磯崎新、谷口吉生の作品群です。

皆さんのお気に入りの空間がありましたら教えてください。

建築物ばかりでしたが、自然の中にも非日常空間があります。

自然に触れての感動があるのかも。

どこまでも続く芝生・幻想的な雲海・夕日に輝く瀬戸内海等々探せばたくさんありますね。

容量的な空間でなく、シチュエーション的な空間もあるかもです。

たとえば、その場で有名人と話しているとか、日常会えない人と空間の共有とか。

空間以外に非日常は存在しますがそれは次回のネタに取っておきましょう。

来日のコラムニスト

上土井優武さん



今月の
テーマ

“社会的な手抜き”を防ぐには

みなさんは、集団で作業を行うとき、例えば会社の大掃除や、学生時代の合唱コンクールなどで、自分が頑張らなくても他の人がいるから大丈夫だ、と考えた経験はありませんか？誰も集団になると、自分ひとりの時に比べてつい手を抜いてしまう「社会的な手抜き」について紹介します。

人数が増えればひとりの貢献度は低下する

約100年前に、ドイツの心理学者リンゲルマンが、綱引きの実験を行いました。ひとりが綱引きをするときと、2人が力を合わせて綱引きをするとき、またその後も順次綱引きに参加する人数が増えるたびに個人がどのように力を発揮するかを調べる実験です。

もしそこで相乗効果が発揮されれば、綱引きに参加する人数が増えるたびに、より大きな力が発揮されることになります。しかし実際にはまったく違う結果が出ました。1人だけで綱を引いた時の力を100%とすると、2人で引っ張ると1人当たり93%、5人では70%、8人では半分になってしまうことがわかりました。

これにより、「集団で作業を行う場合、メンバーの人数が増えれば増えるほど1人あたりの貢献度が低下する」という現象が確認されたのです。人数が増えると無意識に手を抜くこの心理現象は、「社会的な手抜き」あるいは「リンゲルマン効果」と呼ばれるようになりました。



「自分がいなければダメだ」に変えていく

何故ひとりのときよりも集団で動くときに力が発揮できないのでしょうか。その最大の理由は、集団のなかで自分の存在感を認識できないからだと言われています。綱引きでいえば、自分が努力しても綱引きの勝敗が決まるわけではない、自分ひとりががんばったとしても結果に影響はない、という理屈が一人ひとりのなかでまかりとおってしまうのです。

会社組織においても、たとえばミーティングで、自分自身によりアイデアがあっても、自分がプロジェクトの責任者ではないとの理由で、出しゃばらずにうやむやにする場合がみられます。リンゲルマン効果を遮断するにはまず、「自分ひとりくらい」という考えを「自分がいなければだめだ」「自分がやらなければ」と変えていく必要があります。つまり、担当する仕事と個人の役割に対して誇りをもてるようにすることが大事です。

そして物事をなすときに、つねに「何のためにやるのか」という問いと答えが必要です。

この仕事は何のためにやるのか。このプロジェクトはなぜ実施するのか。

その答えが一人ひとりのなかで明確にされ、納得して仕事ができれば、集団の中でも100%の力を発揮できるのではないのでしょうか。



本日定時退社 につき!



7月27日(金)

工場1Fメンバーの暑気払い懇親会がとり樂にて行われました。



おつかれさま

結果発表!

夏休みの フォトコンテスト

沢山のご応募ありがとうございました。
夏休みのフォトコンテストの結果発表です!
みなさんの投票で大賞を決めさせていただきました。

大賞



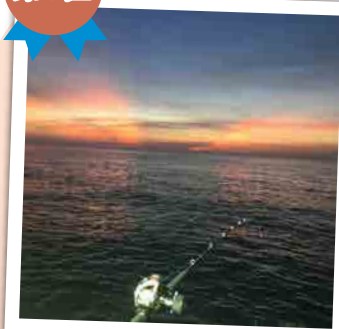
●くまさん / 桑原(健)さん

第2位



●長野県 岩岳山頂にて / 祖川さん

第3位



●生まれて初めてのイカ釣り
船からの夕焼けが綺麗でした / 木原さん



●安佐動物園のナイトサファリ / 三宅さん



●やっぱ海 / 森さん



●仁摩サンドミュージアムで
息子2人は夢中になりました! / 角谷さん



●飾り山笠 / 山根さん



●中1の息子の美術の宿題です / 熊原さん



●100均のTシャツヤーンに
手を出した夏 / 上井さん



●連れてって良かった!
/ 中川さん



●初めての水着は前後逆で着てた事に
気づかずボロリしちゃってました。
/ 綿谷さん



●毎年広島は平和学習の季節だよ / 江口さん



●遊覧飛行?! / 上土井さん



●成長期 / 新田さん



●ガリガリ君の当たり見たことないとか話しながら食べてたら
なんと福田さんが当てちゃいました! / 西尾さん

おたより
募集中

【応募方法】

●氏名 ●掲載用ペンネーム ●住所 ●電話番号 ●投稿内容
を記入して社員へ手渡し、またはEメール、郵便、FAXにてお送りください。
※掲載にあたり、文章に手を加えさせていただく場合がございます。
※二重投稿はご遠慮ください。
※掲載された方には薄謝をお送りしますので、住所・氏名・電話番号は正確にお書きください。
※ご記入いただいたあなたの個人情報は、この企画の目的以外には使用いたしません。

【Eメール】
info-hp@t-denso.com
【郵便】
〒731-0103
広島市安佐南区緑井4丁目22-25 広報担当
【FAX】
082-831-2588